

コペルニクの活動紹介

イノベーションによる社会課題の解決を目指して

一般社団法人コペルニク・ジャパン
代表理事
天花寺宏美

2020年2月18日



1. コペルニクについて

2. コペルニクの活動と取り組み

コペルニクについて

2010年創設。インドネシアバリ島に本部を置き、約70名の多国籍なスタッフが活動しています。日本法人であるコペルニク・ジャパンは、一般社団法人として日本の民間企業、公的機関、大学等との連携を担っています。



»コペルニクは
イノベーションで
ラストマイルの人々の
生活向上を支援します

1. コペルニクについて



2. コペルニクの活動と取り組み

活動の3つの柱

コペルニクは、途上国における革新的な技術や製品、サービスの開拓と普及によって、社会課題解決に更なるインパクトをもたらすため、3つの活動に取り組んでいます。

コミュニティ支援 (Community Empowerment)

支援が届きにくい遠隔地におけるソーラーライトや浄水器などシンプルで革新的な製品の普及、地震や津波の緊急支援活動、女性の経済的自立支援など、各国のパートナーと協働したコミュニティ支援を行っています。

これまでに26カ国、約63万人に17万個以上の、生活向上に役立つ革新的な製品を普及しました。



実証実験 (Lean Experimentation)

途上国における共通の社会課題の解決に貢献する、新しい製品や技術、サービスを開発し、その有効性を実証実験とデータ分析により検証しています。

エネルギー、水、農漁業、教育、保健、女性の経済的自立支援の6分野を対象とし、実証実験結果の公開、普及にも取り組んでいます。



アドバイザー・サービス (Last Mile Consulting)

新興国・途上国の人々のニーズに応える、革新的な製品やサービスを開発している企業や公的機関に対する専門的なアドバイザー・サービスを提供しています。

グローバルな活動経験に富んだコンサルティング・チームが、消費者のニーズ調査や製品開発、プロジェクト設計などをサポートしています。



これまでアフリカ諸国を含む、26カ国で活動を行ってきました



● アドバイザリー・サービス

● 実証実験

● コミュニティ支援

アフリカにおける活動事例



大手電機メーカーのソーシャルビジネス支援

ケニアの未電化地域における家庭用製品のプロトタイプテスト及び市場調査

ケニア農村部家庭の生活向上を目指す、新規製品のプロトタイプに対するニーズや購買力の調査を行いました。現地では3Dプリンターで作成したプロトタイプと、使用方法に関する映像、その他プロトタイプ案の図を使用し、ユーザーとして想定する母親40人からフィードバックなどのデータを収集するとともに、調査での分析に基づき、プロトタイプの改良や今後の調査に関する提案を行いました。



クラウドファンディングによるテクノロジーの普及

ナイジェリア農村部で安全な飲み水を供給する携帯式浄水器の普及

安全な飲み水の入手が難しく、子供や妊婦の健康への影響が課題となっているナイジェリアで、シンプルで安価な携帯式浄水器の普及活動を行いました。現地NGOである熱帯研究保全センターと協働し、240世帯の家庭に製品を届けることで、約1,200人が手ごろで安全な水を利用できるようになりました。

アジアにおける活動事例：企業とのパートナーシップ



大手製造メーカー

途上国におけるビジネスを通じた衛生環境改善のための市場調査と事業化支援

途上国の衛生問題に対して、持続的なビジネスを通じて解決することを目的に、大手製造メーカーで新規事業が立ち上がりました。コペルニクは、想定される消費者のニーズ調査や市場調査を行い、所得層のセグメントごとにビジネスモデルや製品の販売計画を立案しました。さらに、試作品のテスト販売や、消費者の家庭内での使用状況を調査、分析し製品開発や販売戦略の提言を行いました。また、生活環境における衛生と健康の改善に関する、啓発活動のプロモーション戦略の立案、実施やインパクト測定も支援しています。



大塚製薬株式会社

結核患者の服薬遵守支援システム普及促進

インドネシアにおいて結核患者向けスマートフォン用服薬遵守支援アプリを開発し、現地病院において実証試験を行うことにより、同製品の普及及び有用性についての理解促進を図りました。コペルニクは、大塚製薬株式会社の現地パートナーとして現地のネットワークや知見を活かし、結核患者の服薬遵守支援システムの実証テストに係る業務全般を実施しました。
(JICA「民間技術普及促進事業」に採択)

アジアにおける活動事例：企業とのパートナーシップ（CSRプロジェクト）



日本航空とのパートナーシップ

JALチャリティ・マイル

インドネシア、フィリピン、ネパール、インドの学校や医療施設などの公共施設に、ソーラーライトや浄水器を届け、人々の生活の改善を目指す取り組みです。JALマイレージバンク会員からチャリティマイル相当額がプロジェクトに寄付されます。

JALテック・キャラバン

日本国内の中小企業が持つ、途上国の課題の解決に寄与するテクノロジーを発掘。日本の産業と地方経済の活性化にも貢献しています。

JALテック・レポーター

チャリティ・マイルを通し支援する国に、JALレポーターを派遣しています。



パナソニックとのプロジェクトを推進

“パナソニックソーラーライト10万台プロジェクト”
コペルニクの現地でのネットワーク、分析経験を活かし、パナソニック製ソーラーライトを最も必要としている123の診療所に寄贈。

ソーラーライトの効果に関するインパクト調査

ソーラーライトの寄贈先に対するモニタリングを継続的に実施。寄贈から2年間に亘り、利用者の状況、健康面、経済面のインパクト調査を行いました。

（2017年1月-2018年12月）



中小企業のアジア進出支援

J.P.モルガンの協賛のもと、日本の中小企業のインドネシア進出を支援する「**中小企業のアジア進出プロジェクト**」を実施。先進的な技術や製品・サービスを持つ**中小企業計20社**が参加し、**8社**に対し**現地での事業化及び販路拡大、現地パートナー開拓**を支援しました。

参加企業による現地調査・パートナー開拓



第一弾参加企業による報告会(2017年6月7日)



支援企業の例

「停電時にも点灯する電球」
(株式会社ラブロス)



「小型海水淡水化装置」
(ワイズグローバルビジョン株式会社)



「緊急地震速報装置」
(株式会社チャレンジ)

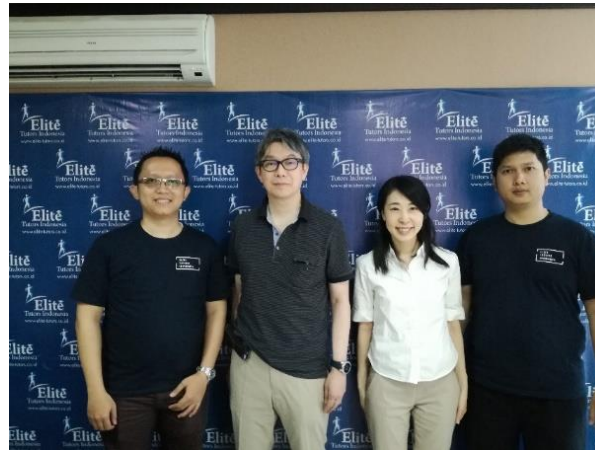


支援企業の例

「バイク・車の余剰電力を蓄電」
(エクスチャージ株式会社)



「オンライン教育事業」
(株式会社すららネット)



「精米機」
(カンリウ工業株式会社)



国際機関、グローバル企業との協働事例



ユニリーバ / イギリス国際開発省

ミャンマーにおける蚊による感染症の対策強化

ミャンマーでは、蚊による感染症対策が十分実施できていないことや、人体に有害な虫よけスプレーや蚊取り線香を使用していることが課題となっていました。この事業はビジネスを通じた社会課題の解決を目指す、ユニリーバとイギリス国際開発省の共同プログラムの1つとして実施しました。コペルニクは対象地域で400人以上に、グループインタビューや製品の試売、家庭での使用検証を実施し、低所得層の家庭でも購入可能な、世界保健機構(WHO)で認可された安全性の高い蚊帳のビジネスモデル構築を支援しました。



世界知的所有権機関(WIPO)

東南アジア環境課題と企業技術のマッチング支援

地球温暖化対策の一環として、途上国への環境技術の移転が課題となっており、国際機関であるWIPOは環境技術のマッチングデータベース「WIPO GREEN」の拡充を目指していました。コペルニクはインドネシアとカンボジアにて、エネルギー、水、空気、農業の分野における現地団体のニーズ調査と、活用可能な企業の環境技術を調査しました。調査で特定された課題と技術はオンライン上で公開され、フィリピンで開催された国際フォーラムではマッチングイベントも実施しました。



オーストラリア外務貿易省/
インドネシア国家開発企画庁

女性の地位向上を目指す団体の能力向上

両政府の共同事業である、ジェンダー平等と女性の地位向上のためのパートナーシップでは、低所得層の女性に対して地位向上や、ジェンダー平等の活動を行う、現地団体の能力向上を支援しています。現在この事業には100を超える団体が加盟しており、インドネシア国内27の州で活動しています。コペルニクは事業が終了する2020年以降も、現地団体が持続的な活動をできるよう、組織の長期計画の立案や財務能力といった、組織基盤強化、パートナーシップの拡大を支援しています。

主なパートナー(民間企業・公的機関・研究機関)

【民間企業・財団】

J.P.Morgan



PHILIPS

【公的機関】



UNICEF



【研究機関】

